

ジュズ  
ダマ

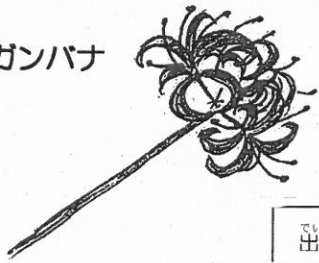


＊ゲンノショウコ



栗

ヒガンバナ

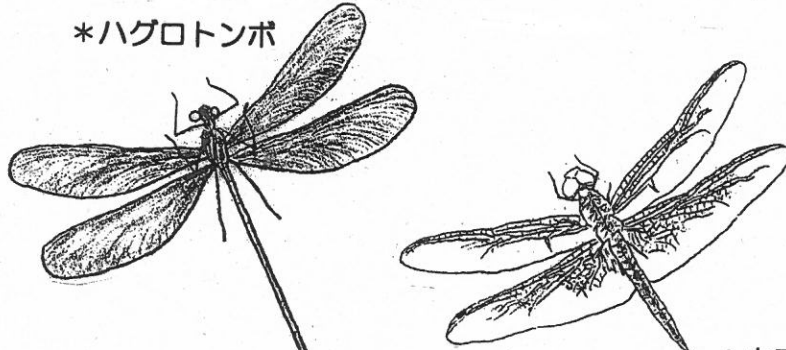


出入口



ヤブツルアズギ

＊ハグロトンボ

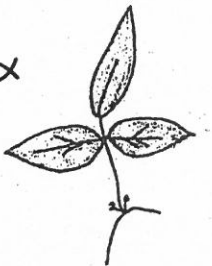


ススキ

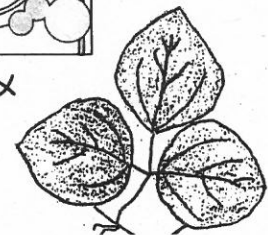


いね  
稲

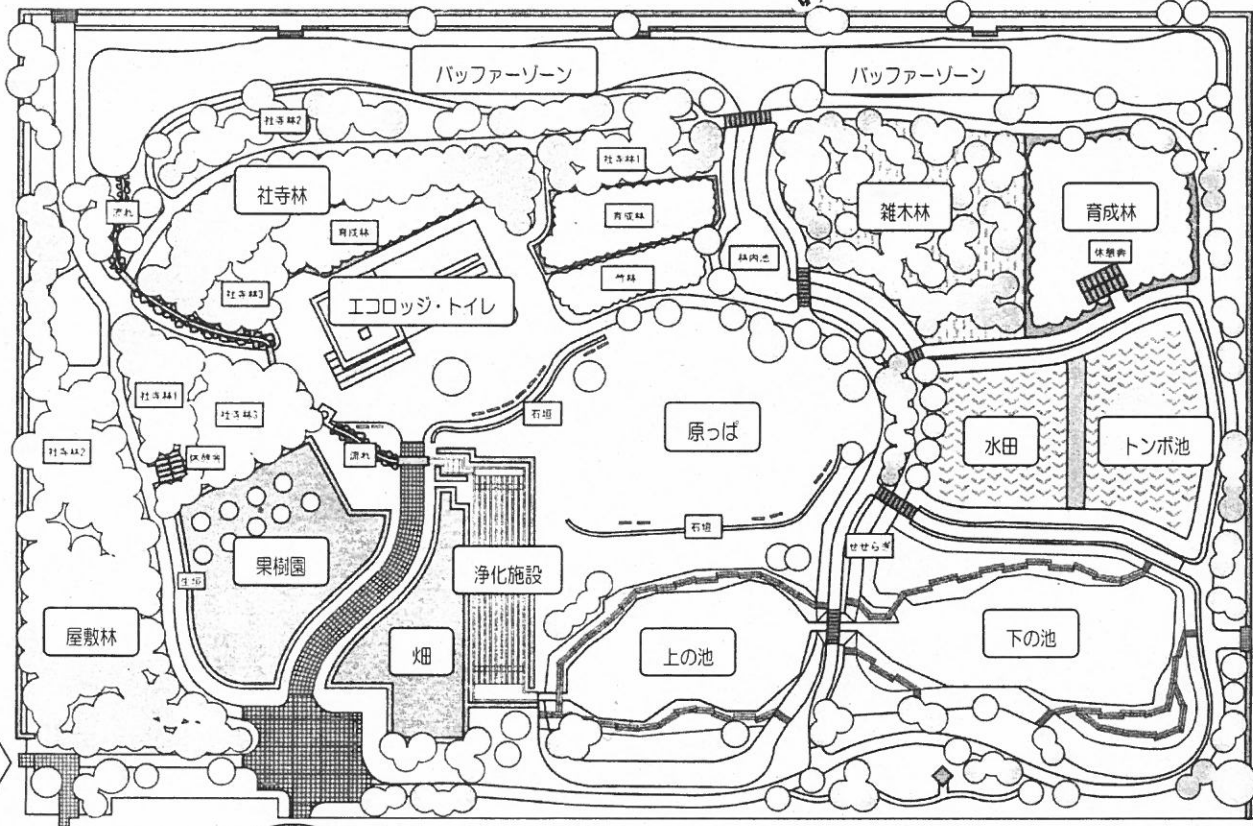
ツルマメ



ヤブマメ



＊ショウリョウバッタ



展望室

＊印は、裏に説明があります。

読んで参考にして下さい。

◆◆ショウリョウバッタ◆◆

耳をすますと、虫の鳴き声がたくさん聞こえるようになりました。姿を見ようと近づくと、ほとんどの虫は鳴き止んでしまうので、どの虫が鳴いたのかよくわかりません。しかし、ショウリョウバッタは驚くと飛び出します。体が大きいのはメスで、オスの倍くらいあります。オスは体が小さく、飛ぶときにキチキチと鳴きます。旧暦のお盆の頃（8月中旬）から見られるようになるので、**精霊（しょうりょう）バッタ**と名付けられたそうです。



◆◆ジュズダマ◆◆

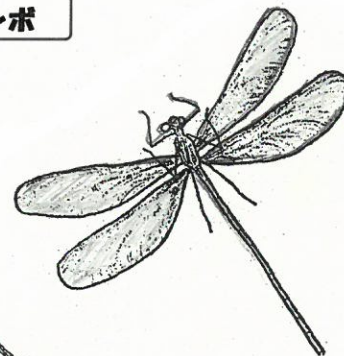
エコロッジの前を流れるせせらぎの近くで、初秋のころ、熟して黒くなった果実が、数珠に似ていることから、ジュズダマと呼ばれるイネ科の、多年草が生えています。この実は乾燥させて数珠を作るのに使われたことがありました。中心に穴が開いているので昔は子供の遊びとしてネックレスやフレスレットなどの簡易の**装飾品**にされていました。



◆◆ハグロトンボ・ウスバキトンボ◆◆

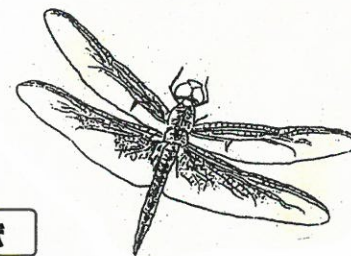
ハグロトンボ

生態園で林内池などのやや暗いところを、ひらひらと飛んでいる黒いはねのトンボは、ハグロトンボです。暗闇の中で黒いはねを、はためかせて飛ぶ幽玄（趣が深くはかりしれないこと）な姿から、神様トンボなど多数の別名で呼ばれます。羽化後しばらくは、水辺の林や社寺林などで暮らします。一般的に成虫になったばかりの頃は、林などの暗い場所を好みますが、そのうち明るい水辺に戻ります。



ウスバキトンボは、体の色はオレンジ色で、はねの大きなトンボです。飛ぶ力が強く、毎年、南方から世代をくり返しながらか北上します。埼玉県には7月頃に到達し、水田を主な繁殖地としてさらに数を増やし、北上を続けます。毎年、北海道の北端まで分布を広げますが、寒さの訪れとともに死に絶えてしまいます。

ウスバキトンボ



～生態園にはここに紹介した植物や、昆虫以外にも多く生息しています。

ぜひ皆さんの目で、耳で探してみてくださいね。～

